

# 第9回処遇・給与部会 統合幕僚監部発表

令和7年12月12日  
統合幕僚監部  
総務部

# 安全保障環境の急激な深刻化

北朝鮮による度重なる軍事的な挑発的言動  
北朝鮮による核・ミサイル開発の更なる進展



北朝鮮



ロシア



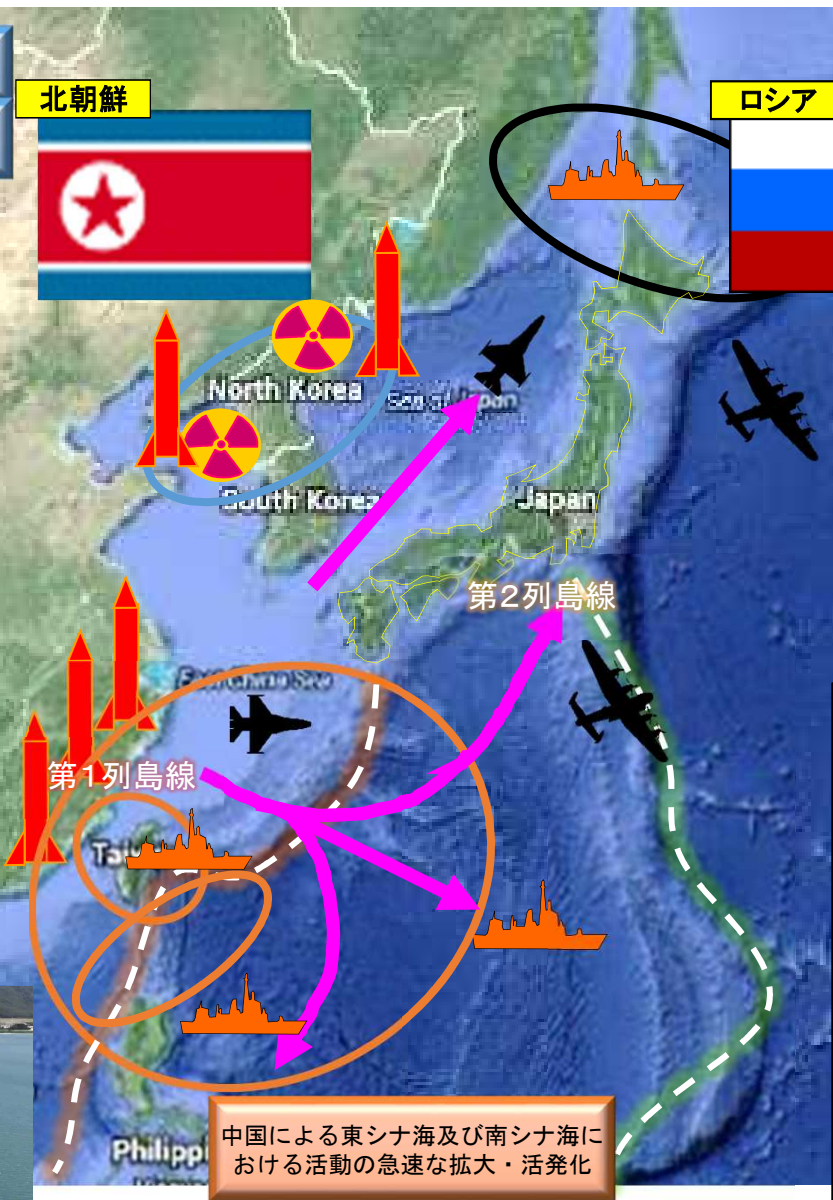
ロシア軍の活動活発化  
ロシアによるウクライナ侵略  
長距離爆撃機の日本周回飛行



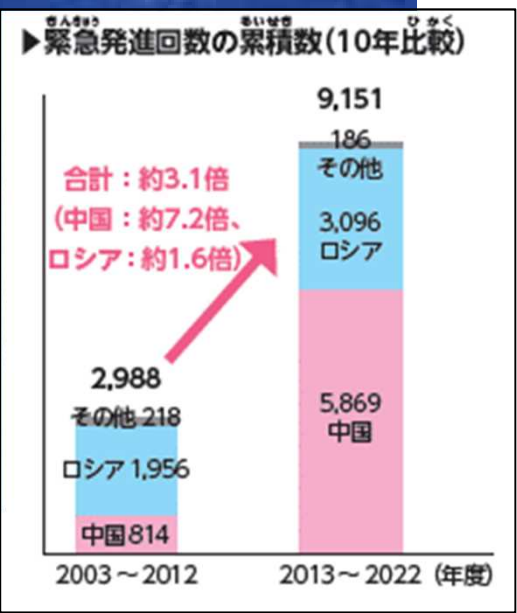
中国



中国による軍事力の広範かつ急速な強化  
中台軍事バランスの変化  
(中国側に有利な方向に)  
空母から艦載戦闘機が飛行  
(西太平洋で初確認)



中国による東シナ海及び南シナ海における活動の急速な拡大・活発化



# 自衛隊の活動範囲の拡大

従来の領域での作戦



新たな領域

### ④ 宇宙領域

○現代の軍事活動は、宇宙空間の利用に依存しており、人工衛星を用いた部隊間の通信や測位が、陸・海・空における戦力の円滑な発揮に不可欠であり、指揮統制・情報収集基盤の中核

○一部の国家は他国の宇宙システムへの妨害を活発化

### ⑤ サイバー領域

○現代の軍事活動は、サイバー空間を利用した情報通信ネットワークに極めて高度に依存

○サイバー攻撃は、社会に深刻な影響を及ぼすため、安全保障にとって現実の脅威

### ⑥ 電磁波領域

○電磁波領域は、陸・海・空・宇宙、サイバー領域に至るまで、活用範囲や用途が拡大し、現在の戦闘様相における最前線

○電磁波領域における優勢を確保することが重要

出典：令和5年防衛白書

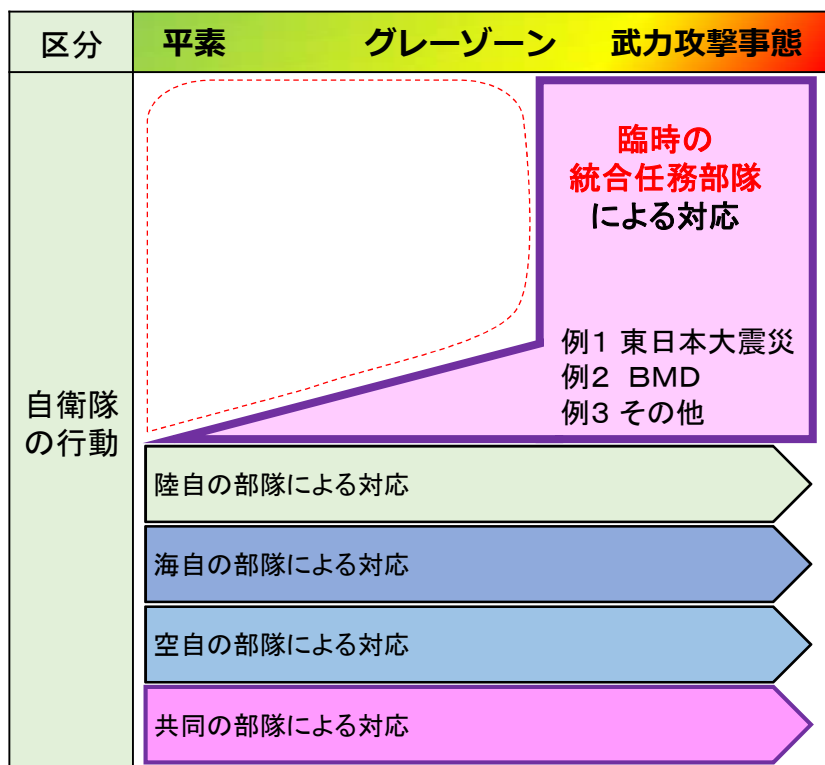


- ・従来の陸・海・空領域の能力に加え、**新領域（宇宙、サイバー、電磁波）**への能力が求められる
- ・これらの領域を融合した「**領域横断作戦**」を実行する体制整備が必要

# 統合作戦司令部創設の必要性

## 創設時

- 平素、統合任務部隊は**存在せず**
- 統合任務部隊の編成は、**発生した事態に応じて臨時**に行うことが必要



## 創設後







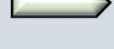

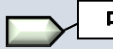
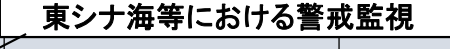


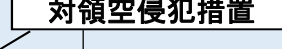












- 平素から統合作戦司令部が存在
- 統合作戦司令官は、**平素から**陸海空自の部隊や共同の部隊を**一元的に指揮し、情勢の推移に応じたシームレスな対応が可能**



統合作戦司令部創設に伴い、情勢の推移に応じた自衛隊による対応が容易化

# 複合事態常態化の状況

## 【2023年度の活動の一例】

	4～6月	7～9月	10～12月	1月～3月
<b>BMD対処</b> 	衛星打ち上げとする発射 	衛星打ち上げとする発射 	各種ミサイルに対する対応 	衛星打ち上げとする発射 
<b>海上における警戒監視</b> 	中国航空母艦「山東」の太平洋進出 	中国艦艇の日本周回航行 	中・露共同巡航 	東シナ海等における警戒監視 
<b>対領空侵犯措置</b> 	中・露共同飛行 	対領空侵犯措置 	中・露共同飛行 	
<b>災害派遣</b> 	山林火災等に伴う災害派遣 	大雨・台風に伴う災害派遣 		能登半島地震 
<b>海賊対処行動 国連PKO等</b> 	海賊対処行動・情報収集活動(ソマリア沖・アデン湾)／国際平和協力業務(南スーダン、シナイ半島) 			
<b>在外邦人等 輸送</b> 	在スーダン共和国邦人等の輸送 		在イスラエル邦人等の輸送 	
<b>その他</b>	陸自UH-60JA航空救難 	G7広島サミット支援 		

# 訓練の拡大（1 / 2）

## 自衛隊統合演習（実動演習）の規模拡大

- 我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施
- 自衛隊が実施する統合訓練の中で最も大規模な実動訓練。令和7年度に実施した本演習については、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境を踏まえ、本演習に参加可能な人員・装備等を集結させた結果、自衛隊が実施する統合訓練の中で過去最大規模となった

### 平成29年度

#### 主要演練項目

- (1) 水陸両用作戦
- (2) 防空作戦
- (3) 海空作戦



#### 演習参加規模

- (1) 人員約15,000名
- (2) 車両約1,500両
- (3) 艦艇6隻
- (4) 航空機約170機

演練項目の拡大



参加規模の拡大



### 令和7年度

#### 主要演練項目

- (1) 水陸両用作戦
- (2) 総合ミサイル防空
- (3) (共同) 統合対艦攻撃
- (4) 統合後方補給
- (5) 基地警備
- (6) 空挺作戦
- (7) 宇宙状況監視に係る連:
- (8) サイバー攻撃等対処
- (9) 統合電子戦
- (10) 指揮所活動に係る訓練



#### 演習参加規模

- (1) 人員約52,300名 約**3.5**倍
- (2) 車両約4,180両 約**2.8**倍
- (3) 艦艇約60隻 約**10**倍
- (4) 航空機約310機 約**1.8**倍

近年は、米軍・豪軍も一部訓練に参加

# 訓練の拡大 (2 / 2)

## 共同訓練、多国間共同訓練等の変遷

主な日米共同訓練：年間 **53回** (R6)  
 多国間共同訓練等：年間 **51回** (R6)

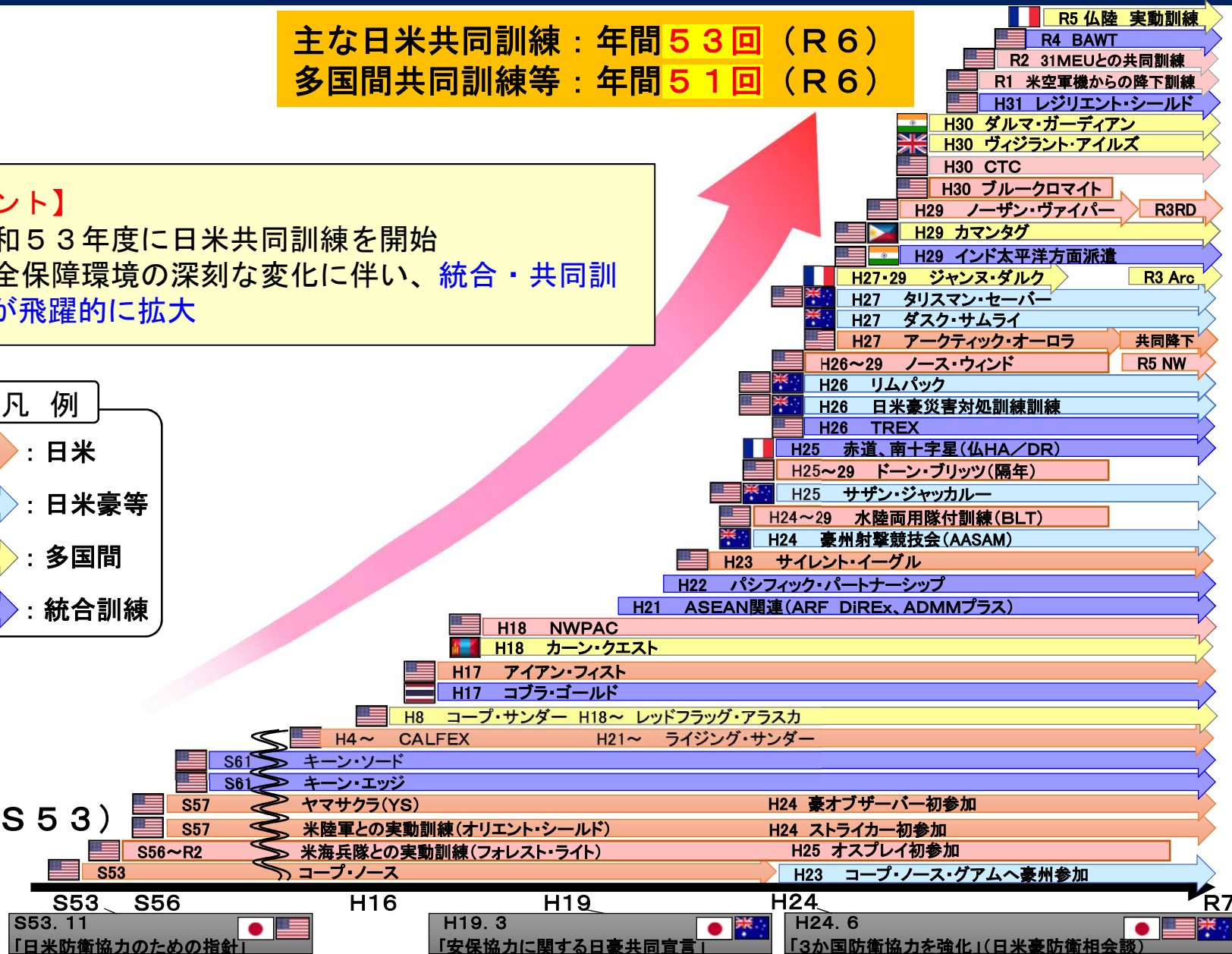
### 【ポイント】

- 昭和53年度に日米共同訓練を開始
- 安全保障環境の深刻な変化に伴い、**統合・共同訓練**等が飛躍的に拡大

### 凡例

- (オレンジ) : 日米
- (水色) : 日米豪等
- (黄色) : 多国間
- (紫色) : 統合訓練

1回 (S53)



S53. 11 「日米防衛協力のための指針」

H19. 3 「安保協力に関する日豪共同宣言」

H24. 6 「3か国防衛協力を強化」(日米豪防衛相会談)

## 自衛官の責任（1 / 2）

### 【ポイント】

- 25年「警察予備隊の職員の規律および懲戒に関する規定」により、**宣誓を義務化**
- 27年の保安庁設立に伴い、新たに**国内治安維持のための命令出動、要請出動あるいは災害派遣等の行動が規定**され、宣誓の内容が若干修正
- 29年の防衛庁設立に伴い、新たに**防衛出動、領空侵犯の措置等の防衛任務**が付加され**事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努める**という、**服務の本旨が明確に規定**

### 【警察職員の服務の宣誓】

私は、日本国憲法及び法律を忠実に擁護し、命令を遵守し、警察職務に優先してその規律に従うべきことを要求する団体又は組織に加入せず、何ものにもとらわれず、何ものをも恐れず、何ものをも憎まず、良心のみに従い、不偏不党且つ公平中正に警察職務の遂行に当たることを固く誓います。

### 警察予備隊

#### 宣誓書

私は、わが国の平和と秩序を維持し、公共の福祉の保障に任ずる警察予備隊の職員に任命せられたことを光栄とし、次のことを厳粛に誓います。

- 1 私は、日本国憲法及び法律を忠実に擁護し、命令を遵守いたします。
- 2 私は、信義を重んじ、誠実を尊び、勇気をもって職務の遂行にあたります。
- 3 私は、上司の職務上の命令には忠実に服従いたします。
- 4 私は、その綱領が私の職務に優先してそれに従うべきことを要求する団体又は組織に加入いたしません。

### 保安庁

#### 服務の宣誓

私は、わが国の平和と秩序を維持し、国民の生命財産の保護に任ずる保安庁職員（保安官、又は警備官）たるの名譽と責任とを自覚し、次のとおり宣誓します。

#### 宣誓

私は、日本国憲法を擁護し、法令を遵守し、徳操をかん養し、心身を鍛え技能を磨き、政治にかかわらず、上司の命令に忠実に服従して専心その職務の遂行にあたることを誓います。

### 防衛庁

#### 服務の宣誓

私は、わが国の平和と独立を守る自衛隊の使命を自覚し法令を遵守し、一致団結、厳正な規律を保持し、常に徳操を養い、人格を尊重し、心身をきたえ、技能をみがき、政治的活動に関与せず、強い責任感をもって専心職務の遂行にあたり、事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえることを誓います。

## 自衛官の責任（2 / 2）

### 【ポイント】

- 自衛官は、「防衛出動」を主たる任務とし、「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努める」ことが求められる。
- このことは、**危険が伴う状況下でも任務を完遂するという強い覚悟と責任感**を自衛官が持っていることを意味する。自衛官は「**国民のリスク**」を下げるために**自ら進んでリスクを引き受ける志**を持って勤務している。

### 武力行使の従事

自衛官は、隊法52条服務の本旨及び隊法56条職務遂行の義務を踏まえれば、武力行使に従事することとなる。

**国際法上の戦闘員と扱われる**ことがその証左である。

### 上官の命令に服従する義務

自衛官は、隊法57条により、職務の遂行に当たって上官の**職務上の命令に忠実に従う**ことを求められる。

**危険が伴う状況下でも任務を完遂するという覚悟と責任感を負ったうえで、上官の命令に服従する**点が一般的な公務員と異なる。



統合作戦司令部と統合作戦（令和7年防衛白書より）



### 総括

危険を伴う状況下でも任務を完遂するという強い覚悟と責任感に応じ、**自衛官が安心して厳しい任務に従事でき、誇りと名誉を得ることができるような処遇**が必要